



国際交流員の活動日誌

vol.84



今年自分にも、周りの人にも感謝の気持ちで祝ってみませんか！
(ララ)

「お誕生日」 Birthdays

英訳版を見る▶



私の誕生日は3月なので、3月に入ると、誕生日のことを考えてしまいます。日本人の友達に「誕生日に何かする？」と質問すると「何もしない」「ケーキを食べるぐらい」とよく答えます。小さい頃から毎年パーティーをしていた私は、これを聞くと寂しく感じます。子どもの頃は友達を誘い、動物園やボウリング場など、楽しい場所で遊んでいました。帰る前に、巨大なケーキをみんなと食べながらプレゼントを開けました。

大人になってもやっぱり誕生日に何かお祝いしないと寂しく感じます。自分に「一年間お疲れ様でした！次の歳もがんばろう！」のような気持ちで祝います。子どもの頃みたいな大きなパーティーをしなくても、大切な人に囲まれて、一緒に過ごすのが最高です。そもそも、誕生日は大切な人が生まれてくれたことを感謝し、その人を祝える日だと思いますので、自分の誕生日ではなくても祝うのがとても好きです。皆さんもそれぞれの方法で、今年自分にも、周りの人にも感謝の気持ちで祝ってみませんか！
(ララ)

地域の魅力 ふる里再発見

ながくらたてあと 長倉館跡周辺の地名

令和5年度第3回企画展
伊達市発掘調査速報展
3/31日まで
伊達市保原歴史文化資料館

鎌倉時代から戦国時代にかけての長倉館跡周辺の歴史は不明な点が多いですが、数少ない文献の記録に長倉館跡周辺の地名が確認されています。
伊達植宗(14代)・晴宗(15代)親子が争った天文の乱(1542～1548年)前後の二人が発給した、所領の宛行状や安堵状の中に長倉館跡周辺の地名が記載されています。
長倉郷内の地名は、「弦巻田」・「北の後」・「素麺田」・「道間」・「前川原」・「東の畠」・「河原田」・「天神の前畠」・「深田」・「稲荷の後畠」・「馬場の深田」があります。そのほか宝寿寺や慈眼寺が売った田畑に「さつこ内田畠」・「河原畠」・「壇の前」・「弦巻田」・「馬場口」、吉祥庵が売った「弦巻の畠」・「沢田」・「蓬田」などの地名があり、これらは現在の旧伊達町内に字名や住宅団地の名称として使われています。



明治時代の地籍図と現在の地図を重ねると、きれいな単郭の長倉館跡が復元されます。字名の「館ノ内」は館内部の地名で、他に「片町」・「本町」・「南堀」・「根岸」・「杵形」・「北後」などの字名が残っています。片町・本町は中世集落・町場の名残です。中世の奥大道から長倉館につながる道は、北側に牛頭天王を祭る八雲神社・宝寿寺などがあり、中世の景観を残していると考えられます。南堀から根岸にかけては傾斜した低湿地帯であったと考えられ、館の防御機能を果たしたと推定されます。

にじいろのたて(男女共同参画に関するさまざまな用語を紹介)

『エンパワーメント (empowerment)』…差別や搾取、抑圧などで力を奪われた人々が、自らの力を取り戻し、よりよい社会を築くために変革の主体となる力をつけること。

